# 被害者支援

## ニュース



■巻頭言 …………第5期5年計画のスタートに向けて

【特集1】なぜ障がい児者が性暴力を経験するのか~障がいのある性犯罪被害者への支援~ 2 【特集2】子どもへの性犯罪・性暴力被害の実態 4

【特集3】被害者支援センターから見た性犯罪・性暴力被害者支援の現状と課題 6

■自助グループファシリテーター育成研修実施報告 8

■寄稿 ……外国人被害者支援について 10

■お知らせ・編集後記 12

## 第37号

## 2022.3.18 発行

## 公益社団法人 全国被害者支援ネットワーク

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-10 東京外国語大学本郷サテライト 6 階 TEL 03-3811-8315 FAX 03-3811-8317 ホームページ http://www.nnvs.org/ Twitter 公式アカウント @ nnvs\_org

巻頭言

## 第5期5年計画のスタートに向けて

## 全国被害者支援ネットワーク 理事長 ● 椎橋 隆幸

#### 1 第5期5年計画の策定の経緯

令和4(2022) 年度から第5期5年計画を実施しま す。全国ネットワークは、犯罪被害者が「全国どこにいて も、いつでも求める支援が受けられ、被害者の声に応えら れる活動」の実現をビジョンとして活動してきました。「組 織が継続的に充実・発展していくためには、明確なビジョ ン及びビジョンを実現するための達成可能な中期・短期の 計画が策定・実行されなければなりません」(山上晧元理事 長の思いを受け継いだ平井紀夫前理事長の言葉)。 このビ ジョンを明確化したものが10年ビジョン(2016年作成) であり、中期計画が第1期3年計画から第4期3年計画で あり、短期計画が年度計画に当たるものといえるでしょう。 そして第5期は、第4期までは3年計画としていましたが、 第4次犯罪被害者等基本計画が5年計画であることから、 それに平仄を合わせて5年計画としました。当然のことで すが第5期5年計画は第4期3年計画の進捗状況に対す る各センターの評価や要望・意見を聴取した結果を参照し て、組織部会で施策毎の論点を整理した上で検討し、さら に、第5期5年計画策定プロジェクトにおいて各部会の検 討結果を慎重に検討した上で策定したものです。

#### 2 第5期5年計画の内容

第5期5年計画も10年ビジョンの基本方針の下に被害者支援活動の基本的施策として(1)支援活動の質の向上、(2)相談員等、事務局員の意欲の向上、(3)組織体制の強化、(4)広報啓発活動の充実強化、を図る施策に引き続き取り組みますが、第5期5年計画の新たな施策として①自助グループ支援の充実・強化、②被害にあった子どもや兄弟姉妹、遺族となった子どもへの支援、③ワンストップ支援センターとの連携・強化、④デジタル技術を活用した支援業務の充実化及び全国的な広報啓発等に取り組みます。

①についてネットワークは、センターの自助グループ活動の共有を図り、また、自助グループ間の交流の支援に取り組みます。自助グループを持たないセンターについては、自助グループ活動の実施を働きかけたり、他センターの自助グループを紹介するよう働きかけたりの取り組みをします。

- ②は「全国被害者支援フォーラム2019と2020」中のパネルディスカッションと講演でも取り上げられました。第4次基本計画では、被害にあった子どもの相談等に適切に対応できる、学校内の連携及び相談体制の充実また、教育委員会において関係機関・団体との連携・協力の充実・強化を図ることが謳われています。ネットワークは被害にあった子どもへの支援について、その実態を調査して支援の充実を図るとともに、同関係機関への広報・啓発を推進していきます。
- ③は被害が潜在化しやすい性犯罪被害者等に可能な限り一ケ所で支援を提供し、その心身の負担の軽減・回復を図ることを目的として全ての都道府県に置かれています。ワンストップ支援センターは病院拠点型とセンター連携型がありますが、ネットワークは、被害者がどちらの型においても格差がない、適切な支援が受けられるように、病院との連携・強化、支援体制の充実・強化が図られるように取り組んでいきます。
- ④は若年層において SNS などの利用が増加している状況を背景に第4次基本計画は犯罪被害者施策についても SNS 等の様々な広報媒体を通じて被害者施策の重要性 や民間支援団体の意義・活動について広報するとしています。ネットワークは、デジタル技術を使用した支援業務の充実化、遠隔地の被害者等への支援業務さらに被害者支援等についての全国的な広報啓発に取り組みます。

### 3 結びに

以上、第5期5年計画の概要を述べましたが、第1期3年計画から第4期3年計画の間に被害者支援に関わる多くの方々により達成された施策が多くあります。先人の努力に敬意を表します。他方、十分に達成されていない施策もあり、加えて、新たに必要とされる支援も発生し、それに対する適切な対応策も施策として具体化し、達成しなければなりません。しかし、全体としてみれば、被害者支援は着実に進展していますし、被害者支援に理解を示す人々は増加していると思います。第5期5年計画の実現のために共に邁進していきましょう。

発行:公益社団法人全国被害者支援ネットワーク